

鳴門教育大学（6） 教育相談研修：教員のための箱庭体験グループ —イメージを通じた自己理解・他者理解—

- 1 目的
非言語的な表現技法である「箱庭」を用いて、イメージ表現やイメージを使ったコミュニケーションを楽しみながら教育相談力の基礎となる自己理解や他者理解を図る。
徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目V-推進項目15-③教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組
【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】
○素養「C 社会性・コミュニケーション力」
○担任力・生徒指導「A 児童生徒理解・指導力、幼児児童生徒理解・指導力」

2 主催
鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期 日
令和6年8月1日（木）

4 会 場
鳴門教育大学 共通研究A棟 4階 教育相談準備室 第3心理テスト室

5 対象者
(1) 職種 教職員
(2) 校種 幼保・小・中・高・中等・特
(3) 定員 5名

6 内 容
(1) 導入：「箱庭」についての説明、砂を味わうワーク
(2) 箱庭制作（グループ、個人）
(3) まとめ

7 講 師
鳴門教育大学 人間教育専攻 臨床心理学 教授 久米 禎子

8 日 程
9：30～9：50 受付（共通研究A棟 4階 教育相談準備室 第3心理テスト室）
9：50～10：00 開会、諸連絡
10：00～10：30 講義
内容 「箱庭」についての説明。砂を味わうワーク。
10：30～12：00 演習「箱庭制作1」
内容 グループ制作（グループで制作します）。個人制作（1人ずつ制作していただきます）。シェアリング。
12：00～13：00 昼食
13：00～14：10 演習「箱庭制作2」
14：20～15：30 演習「箱庭制作3」
15：30～15：50 まとめ
15：50～16：00 アンケートについて、閉会

9 準備物
・作品を撮影するカメラ等
・筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。)

10 その他
(1) 少人数グループで「箱庭」のグループ制作や個人制作を行い、イメージ表現やイメージの交流を楽しみながら、自己や他者についての気づきを深めます。（※「箱庭」…砂の入った箱にミニチュアの人物や動物、植物、乗り物、建築物などを用いて表現する心理療法の一技法）
(2) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職員（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職員は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職員のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、総合教育センターのWebサイトからダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】：徳島県立総合教育センター教職員研修課

E-mail：kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】：徳島県教育委員会体育健康安全課

E-mail：taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信）

時に使用)、E-mail: taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp (前記以外に使用)

【幼稚園教諭, 保育教諭】 : 徳島県教育委員会義務教育課

E-mail: gimukyoku_1@g.tokushima-ec.ed.jp

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園は、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメールに添付して提出してください。

(3) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル(夏はノー上着・ノーネクタイ等)で結構です。

(4) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域(鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域)に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(5) 昼食は、近辺でとるか、各自でご用意ください。

(6) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 川村 誠司 088-672-6419